



WORLD CUP

GROUP

ワールドカップ グループ

2026年6月23日

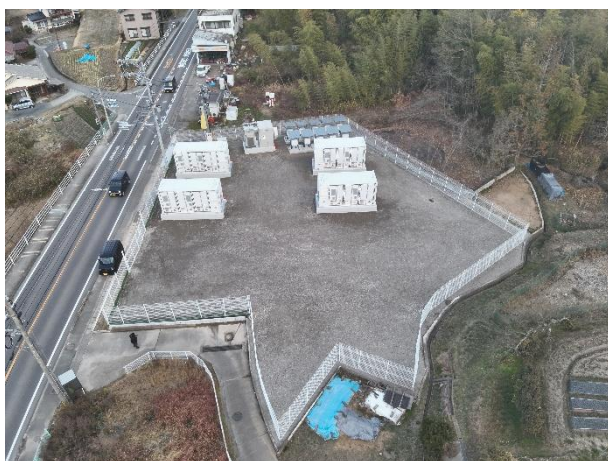
新規事業（系統用蓄電池事業）参入の背景と目的

脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの導入と、生成 AI や半導体工場の急増に伴う電力需要の拡大は、日本の電力網に供給の不安定化という新たな課題をもたらしています。

特に再エネの出力抑制（電力の廃棄）が深刻化する中、送電網のバランスを保ち、電力を安定的にコントロールする「系統用蓄電池」は、今後の社会を維持するための不可欠なインフラです。

当社はこれまで、パチンコ事業や航空機事業、そして太陽光発電事業を展開してまいりました。今後はこれまでの経営基盤やエネルギー分野での経験を活かし、さらに持続可能な未来への社会的責任を果たすべく、電力を「調整・安定化」させる本事業へ参入し、日本の社会インフラを根底から支えていく方針です。

その第一歩として、現在は 2MW 規模の蓄電所を 2 箇所で稼働開始させており、今後はさらに拠点を拡大していく予定です。本事業を通じてサステナブルな社会の実現に貢献するとともに、確かな成長分野での安定的な収益基盤の確立を目指してまいります。



呉市郷原町系統用蓄電池



尾道向島蓄電所

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ワールドカップ

hp@w-cup-group.com

以上